

## 2019 大会年度東京マラソン財団第 2 回理事会議事録

2019 年 6 月 21 日午後 3 時、新宿 NS ビル内会議室において、2019 大会年度東京マラソン財団第 2 回理事会を開催した。

理事総数 37 名  
出席理事数 22 名  
出席監事数 1 名

事務局は、理事総数 37 名中 22 名が出席し、定足数である半数を超えるため、適法に成立している旨を出席理事に報告し、議事に入った。

### ○ 第 1 号議案 アクションプラン beyond2020 の策定について

2010 年の財団設立以降の東京マラソンの状況や 2020 年以降の社会情勢等を踏まえ、事業を 4 つのセグメントに再編成し、今後 10 年間の財団事業の方向性を示すものとしてアクションプランを策定した旨説明し、ランニングイベント事業、ランニングライフ事業、ウェルネス事業、社会貢献事業の内容について説明した。

この説明に対し、金理事から、ランニングライフ事業の一つである「ジョグポート有明」を始めた理由及び支出が超過している状況を踏まえた今後の展望について質問があった。

これに対し、早野事業担当局長は、ランニング文化の拡大や、スポーツ実施率向上に向け、社会環境を変えていくため、収支の面で事業として成立することは重要であるとした上で、引き続き改善を続けながら、粘り強く様子を見ていきたいと述べた。

これに対し、金理事から、次の報告の際には経営的な観点で数値や実施率、取組の具体的な内容を示してほしい旨の意見が示された。

本件については、出席理事全員の承認を得たため、可決成立した。

### ○ 第 2 号議案 2020 大会年度事業計画及び予算書案について

大森事務局長は、定款第 9 条第 1 項の規定に基づき、2020 大会年度事業計画及び収支予算の説明を行った。

この説明に対し、金理事から、参加料改訂によるエントリーへの影響について質問があり、早野事業担当局長は、参加料改訂については一定の理解が得られており、2020 オリンピックの関係もあって直ちにエントリーが減るとは考えていない、2019 大会での厳しい気候の中での運営や EXPO の会場確保など苦労もあるが、できる限りのことをやり、色々なことを考えていくなど努力していきたいと述べた。

本件については、出席理事全員の承認を得たため、可決成立した。

### ○ 第 3 号議案 東京マラソン 2020 大会要項（案）について

早野事業担当局長は、定款第 38 条第 3 号の規定に基づき、東京マラソン 2020 大会要項について、昨年 12 月の理事会で決定した参加料の変更と、都民エントリーの創設を含めて説明を行った。

この説明に対し、小室理事から、環境に配慮した取組として、電気バイクの導入拡大やワンウェイプラスチックの削減をお願いしたい、また、海外への発信力強化についても検討いただきたいとの意見があった。

これに対し、早野事業担当局長は、オフィシャルパートナーであるBMWにEV車両を増やす方向で要望しており、廃プラスチック及び海外への発信については前向きに検討したいと述べた。

また、瀬古理事から、海外からの参加料が国内の参加料に比べて高い理由について質問があり、早野事業担当局長は、手数料や通信費が要因であり、他大会でも海外からの参加料が高く設定されていることを説明した。

本件については、出席理事全員の承認を得たため、可決成立した。

## ○ 報告事項

[東京マラソン 2020 寄付先団体の拡充について]

早野事業担当局長は、寄付先団体として、新たに8団体を追加し、2020大会では28団体、29事業が寄付先となり、今後もチャリティ文化の醸成に向けて積極的な取組を展開していくと報告した。

[理事長、副理事長の職務執行報告について]

大森事務局長は、定款第30条第5項の規定に基づき、平成30年8月29日から令和元年6月21日までの代表理事の職務執行状況について報告した。

[東京マラソン 2019 の実施報告について]

早野事業担当局長は、東京マラソン 2019 の実施状況について報告した。

## ○ その他

[洋服ポストの実績及びフラッグのリユースについて]

大森事務局長は、洋服ポストの実績及び東京マラソン 2019 で使用したフラッグをバッグに再利用し、縫製作業を都内の障害者就労施設に委託し、「ジョグポート有明」で販売すること、またこれらの収益の一部を東京善意銀行に寄付することについて報告した。

[ランナーの防寒対策について]

大森事務局長は、東京マラソン 2020 ではランナーの防寒と安全面を考慮し、ランナーローブを配布すること、また、今回の見直しに伴い、これまで参加者に配布していた参加記念Tシャツは希望購入制とすることについて報告した。

[内部統制等に係る自己点検の実施について]

大森事務局長は、東京マラソン財団が「東京都政策連携団体」の指定を受けたこと、及び東京都からの通知に基づき、不適正事案及び内部統制に関する自己点検を行ったことについて報告した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、定款第44条第2項に基づき、代表理事及び監事は、次に記名押印する。

2019年6月21日

一般財団法人東京マラソン財団

代表理事 伊藤 静夫



監 事 曾根 真人

